

# 医療体制を充実させ、

## 安全安心な町を目指します

雄武町長 石井 友藏

### 新年

明けましておめでとございませす。町民の皆さまにおかれましては、清々しい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、口頭から町政に対しご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

現在、私たちは、新型コロナウイルスという人類史に記録されるであろう、新たな脅威に立ち向かっているところであります。ウイルスとの闘いの最前線に立ち続ける医療現場、保健所の皆さん、そして介護現場の皆さんをはじめ、多くの方々の献身的な努力のおかげで、コロナ禍においても私たちの暮らしが守られています。改めて、深い敬意とともに、心から感謝の意を表します。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「経済は戦後最大の危機に直面している」と言われています。歴代最長の7年8か月にわたり続いた第2次安倍政権を引き継いだ菅内閣も感染拡大の防止と社会経済活動の両立を図っていくため、「躊躇なく、必要な対策を講じていく」としています。雄武町におきましても、令和2年4月7日に雄武町新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、以降、さまざまな施策を講じているところであります。感染拡大防止対策はもちろんのこと、町民生活や町内経済への支援も図るなど、経済対策も時機を逸せず実施してきたところであります。今後におきましても、引き続き、感染症拡大防止、町民生活支援、町内経済支援に全力をあげて取り組んでまいります。町民の皆さま

におかれましても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今一度、新たな生活様式等の実践により、一人ひとりが、感染しない、感染させないといった行動をとっていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

本来であれば、昨年7月には東京で二度目のオリンピックが開催され、多くの日本人の活躍に心を躍らせていたことと思いますが、新型コロナウイルス感染症により1年延期となってしまいました。そのほかのイベントや行事についても、国内外を問わず中止若しくは延期となっており、雄武町においても産業観光まつりをはじめ、多くのイベントや催しが中止を余儀なくされました。新型コロナウイルスに対するワクチンの開発も進んでいますので、今年も予定どおり各種行事が開催できることを切に願っております。

さて、昨年の町内産業の状況であります。農業における牛乳については、搾乳農家は47戸で、増減なく推移しており、各協業法人における経産牛の増頭も順調に進捗し、今のところ過去最高を記録した令和元年度の生産量および生産額を上回っております。牧草については、5月から6月上旬に適度な気温と降水量があったため、収穫量は増産となり、平均値を上回り、デントコーンも牧草と同様に平均値を上回っております。

漁業は、主要魚種の一つでありますホタテ貝が計画を上回り、2万トンを超える漁獲量となり、史上最高の漁獲量となりました。

の、価格については前年を大きく下回り、漁獲金額は、大きく減少となりました。毛ガニは、計画量の44トンを超えましたが、資源量が減少、サケについては、過去4年間で最高の漁獲量となり、漁獲金額も計画を上回ったところであり、雄武町全体の漁獲金額については、前年を上回ってまいりました。

関連する水産加工業では、平成27年からホタテ貝減産により、非常に厳しい状況が続いておりましたが、ホタテ貝は、今後においても安定的な原料確保が期待できることから、毛ガニの資源量の回復とサケが安定して水揚げされることを期待しているところであります。

また、昨年は、早い段階で、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、水産加工業雇用維持・経営持続化対策補助金を創設し、支援を行ったところであり、早期に経営の安定化が図られることを願っております。

昨年、1年間は、コロナ禍にあって思うような政策を行うことは叶いませんでしたが、本年は、町長就任にあたりまして掲げた「郷土愛を育み未来に夢と希望の持てるまちづくり」という大きな目標に向けて、「地域産業」、「医療・福祉」、「教育」、「観光」、「町民と真の協働」、「人口減少対策」によるまちづくり」という6つの重要施策に精力的に取り組んでまいります。そして、その中でも特に医療体制の充実が急務であります。国保病院では、本年3月上旬から念願の常勤医師2名体制が整うなど、医療サー

ビスの向上や安定した病院経営にも期待できることでありますが、町民の皆さまが、安全で安心して地域格差のない医療を受け、この町で長く安心して住み続けられることができるように、さらなる医療体制の充実に向け全力で取り組んでまいります。

先人が築き上げましたこの町をしっかりと守り、次代に引き継いでいけるように、職員とともに政策の具現化に向け全力を傾注してまいりますので、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結句に、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

### 令和

3年の新しい年が明けました。町民の皆さまにおかれましては、穏やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。旧年中は町議会に対し、深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、令和元年12月に中国武漢市で初めて検出された新型コロナウイルス感染症が令和2年には武漢市から世界中に広がり、強い感染力を伴った未知のウイルスにより全世界で160万人以上が命を失い、日本国内でも25000人を超える犠牲者が出ました。これまで経験したことのない事態に、各国は入国制限や都市封鎖を実施し、我が国も3月下旬以降感染者の急増により政府は4月に「緊急事態宣言」を発表しました。すべての学校が一時的に休校になり、外国との人々の出入国を禁止し、飲食店の営業時間の短縮や休業要請を行い、密閉・密集・密接の三密を避けるため、Web会議やリモートワークを奨励しました。世界も日本も経済的影響は甚大で、1920年の世界恐慌以来の衝撃とされています。

また、令和2年は、新型コロナウイルス感染症が重要課題の一年でした。雄武町議会も、3月定例会では「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛などの影響により売上が減少している中小・小規模事業者を対象とし、運転資金を確保するための緊急的な金融支援対策を

検討されたい」との予算審査特別委員会の審査意見を付して2年度予算を可決しました。早速、4月の大型連休前に「地域元気応援券」を全町民に届け、持ち帰りなどの利用増加によって、新しい形の購入方法の発見につながっています。

その後も町民の方々の支援のため国・道の施策とともに町独自のさまざまな施策の実現に町と議会は議論してまいりました。産業の分野について、漁業では毛ガニ漁が昨年不漁でした。隣接する宗谷管内の豊漁と比較すると自然環境の原因とは思えない程の格差に確実な対策が必要と感じます。一方でサケ漁は、幸いなことに昨年より約5割増加しました。主力のホタテ漁は初の2万トン超えを達成しながら、低価格のため金額では目標を下回ったことは誠に残念でしたが、例年になく寒さの厳しい12月中旬過ぎまでの操業には、乗組員の方々はもとより、関係者各位に心から敬意と感謝を申し上げます。さらに安全操業に欠かさない4か所の漁港の整備が毎年予算化されていることは頼もしい限りです。

農業では、数年前からの規模を拡大した新設法人や個人経営の方々が、着実に生産を伸ばしていることは、これまで長きにわたる先人の努力が今ここに実を結びつつあると、実に喜ばしく思っています。

「国営緊急農地再編事業雄武丘陵地区」による農地の整備事業も4年目ですが、排

水効果や作業効率の向上した新たな大面積の農地ではチモシーやオーチャードグラスなどの良質な牧草や、日本一の作付面積を誇るタツタンそばの栽培が行われ、年を経過することに農地整備の効果が表れており、今後の整備進捗が待たれるところであります。

昨年は、8月に歴代最長の7年8か月の在職年数だった安倍信三首相が辞任表明し、9月に菅義偉氏が第99代首相に就任して新内閣が発足いたしました。

また、米国大統領選挙により再選を目指したトランプ大統領がバイデン前副大統領に破れております。我が国としても、最も深い関係の米国のトップ交代により、経済・防衛に及ぼす影響に注視しなければならぬでしょう。

町議会では、4期目の村上伸夫議会議長が誠意で残念でしたが、1月に体調不良のため辞職されています。私共議員は雄武町の将来を見据え、町民の皆さまの思いを背負い、「コロナ禍にあっても安心して暮らせる雄武町を築くため責任を強く自覚してこれからも活動してまいります。

本年も、議会に対し、より一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、町民の皆さまにとりまして、より良い一年になりますよう心からご祈念申し上げます。年頭の、ご挨拶といたします。

## 大切なふるさと雄武町を

## これから安心して暮らせる町に

雄武町議会議長 橋詰 啓史

雄武町長と雄武町議会議長が語る

# 五年の誓い

